

令和4年度全国ビジネス計算教育研究協議会

研究協議

(1) 総務部関係

- ・第146回ビジネス計算実務検定試験(令和5年6月実施)作成委員はすでに依頼済み群馬、長野、和歌山、徳島、宮崎の各県
- ・令和5年度第146回ビジネス計算実務検定の申し込み期間を昨年度より4日間遅くし、4/10～4/18にする。今まで締め切りが早すぎるとの指摘があったため。

(2) 検定部関係

- ・「定価」の表記は、第147回検定まで「予定売価(定価)」とする。第148回からは「予定売価」とする。(移行措置)
- ・第144回、第145回から出題範囲を広げたが、このことはこれからも変えない。
- ・小計、合計、構成比率の配点が高すぎるとの指摘があるが、検討はしない。
- ・検定の紙について裏写りしないことを条件に薄いものに替えられるかどうかこれから検討する。(紙が厚すぎて扱いづらいとの指摘を受けて)
- ・第146回(R5.6月)検定から変更する内容として、普通計算の表紙の裏に見取算を印刷し両面印刷にする。普通計算の表紙をA4横長にし、問題と同じ向きにする。

(3) 競技部関係

- ・令和5年度の日程について、7/24(月)大会打合せ会、7/25(火)第70回全国高等学校ビジネス計算競技大会を神奈川県横浜武道館で行う。ギャラリー付きで1,300人収容できる施設である。
- ・ビジネス計算の難易度について、珠算と電卓では計算量が違うので、電卓の制限時間を短くした方がよいのではないかと。→今後検討する。
- ・ビジネス計算の問題用紙がA3サイズになり、余白がないため計算用紙を配付してほしい。→配付しない。現に高得点の選手はメモをしていない、メモなしでできるよう指導してほしい。
- ・審査で自分の県の実績が含まれていた。割り振りの際に配慮が必要ではないか。→今回34名の欠席があり、急遽変更したため。継続ではない。
- ・ストップウォッチの音を出さない、下敷きは使用するのであれば無地、予備の電卓は机の中に入れてもいい、など顧問・引率の先生は選手に伝えておいてほしい。
- ・全国大会のビジネス計算の解法を生徒が勉強しやすいように全商協会のホームページにアップする。

(4) 事務局より

- ・検定申込後は、本来変更は受け付けない。生徒が不利にならないよう対応しているので、ミスのないよう厳格に行っていただきたい。
- ・検定の特別措置以外の対応が必要な場合については、申し込みの後ではなく、申し込みの前に試験場校の校長または本部校校長より連絡をいただきたい。

(この他事務局より連絡事項がありましたが、ビジネス計算協議会だけに係る伝達事項ではないので省略します)

徳島県立小松島西高等学校 谷本真由美